

【第3回】  
連続ドキュメンタリー映画上映会

申込不要 参加無料

外泊  
WEABAK

'외박, 동침 그리고 변심'  
흡연여성노동자들의 510일 파업기록 (2007-2008)

WEABAK  
STAY OUT ALL NIGHT  
<http://daum.net/weabak>

監督：キム・ミレ／韓国／2009  
日本語字幕制作：FAV連続影展

日時：1月15日(木)

上映時間：15時～

(上映時間73分)

※上映後、監督による  
トークと質疑応答の  
セッションをもうけます。

場所：成蹊大学9号館  
(102号室)



제11회 서울국제여성영화제 추천상  
제14회 부산국제영화제 경쟁부문상  
제1회 부산여성영화제 최우수상  
제12회 강원국제영화제 최우수상  
2009 서울국제영화제 경쟁부문상  
2009 제14회 부산국제영화제 최우수상  
2009 제1회 부산여성영화제 최우수상  
2009 도봉국제영화제 최우수상  
73분/2009년/다큐 감독 김미레  
조감독 자경혜영(Pang)  
촬영 김미레 자경안형영  
음악 김병오 사운드 표용수 김병오 타이틀 CG 김병오 일러스트 이지영

〈キム・ミレ監督プロフィール〉

1964年生まれ。労働問題を通して  
韓国社会の現実を撮り続けてきた。  
代表作品として、『We Are Workers  
Or Not? (労働者だ、違う)』他。  
『Weabak : 外泊』は山形国際ドキュ  
メンタリー映画祭 (2009) などで上映。

〈ストーリー〉

韓国のワールドカップ競技場にある大手スーパーで、レジ打ちを担当する  
女性労働者たちの510日間の闘いを描く。女性たちはマーケットに  
毛布を敷きつめ、家を離れ、「外泊 (泊まり込み)」を始めた。  
食料を持ち寄り調理し、互いの思いを語り合う。歌い、踊り、泣き、笑い、  
労働争議はいつしか家族的役割からの解放の場を生み出していった。



アジア太平洋研究センター (CAPS) は今年度、アジアに関わるすぐれたドキュメンタリー映画を上映し、  
同時に映画の製作や配給の関係者に作品の背景をお話していただく連続企画を開始しました。学生や市民の  
みなさんにとって、ドキュメンタリーを観ることが一つの〈体験〉となるよう期待をこめて企画しています。  
3回目となる今回の上映会では、前回同様、監督ご自身を会場にお招きし、製作の動機や作品の背景など  
をお話して頂きます。2009年の山形国際ドキュメンタリー映画祭で上映されて以来、日本各地での上映会で  
大きな反響を呼んできた「外泊」が、いよいよここ成蹊大学でも上映されます。

主催

成蹊大学アジア太平洋研究センター (CAPS)  
〒180 - 8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1  
Tel: 0422-37-3549 Fax: 0422-37-3866  
E-mail: caps@jim.seikei.ac.jp  
HP: <http://www.seikei.ac.jp/university/caps/>

アクセス

吉祥寺駅北口より徒歩 15分  
バス乗り場 1番 2番より関東バスで  
約5分「成蹊学園前」下車

